

故 石津・伊川・江口氏を偲ぶ



創立30周年記念展・追悼特設コーナーにて



石津氏

石津浩一元副会長は、かねて病氣療養中でしたが、2015年3月12日永眠されました。石津氏は長く当協会の活動に積極的に参加され、スペイン語教室や、ミニ・サッカー大会、ダンス&フード・フェスティバルなどの運営に大いに力を尽くされました。非常に残念に思いますと同時に故人のご冥福を心からお祈りいたします。



伊川氏

長年に渡り白井国際交流協会の英会話教室を運営して頂いた、伊川幸氏が2021年1月27日永眠されました。この間 英語、スペイン語、日本語、中国語の4教室が集まる「語学教室交流パーティー」の面倒を見て頂きました。また、友好都市オーストラリアのキャンパスピとの交流の時は通訳して頂き、国際交流に大変貢献されました。お疲れ様でした。



江口氏

入院加療中だった江口泓氏は2021年10月21日永眠されました。江口氏は永年に渡り、副会長、事務局、広報を担当され白井国際交流協会の運営を担って下さいました。友好都市、オーストラリアのキャンパスピには訪問参加者の先頭に立って幾度も訪問されました。また江口ご夫妻は良くイタリアに出かけられ、その様子は「江口泓・誠子作品展」としてインターネットで見ることが出来ます。江口さん、安らかにお休みください。

感動の「わぁ!」

驚きの「ワッ!」

人々の「輪っ!」

Wa! Wa! Wa!

白井国際交流協会 広報誌

2022年10月
No. 89

編集発行
白井国際交流協会
広報部会

〒270-1431 千葉県白井市根 116-32
川上ビル2F 202号室

新たな時に向けて

会長 林 章

白井地域の国際化と国際交流「多文化共生・異文化交流」の先兵を担うべく設立された、白井国際交流協会、昨年創立30周年を迎えました。



(白井から世界へ・世界から白井へ)を活動の合言葉とし、市民レベルでの世界平和を目指し、多岐にわたり活動を実践してまいりました。白井国際交流協会の活動の大半は、大勢の市民の皆様に参加していただき、イベント、及びフェスティバル形式が多く、コロナ禍ゆえにここ数年は開催中止、若しくは自粛せざるを得ない行事が多数を占め活動が低迷し実に残念に感じております。しかし、いつまでも足踏みしているわけにはゆきません。役員一同、しっかりと現状を把握し、出来ないと諦めるより、出来ることから少しずつ、地域の皆様のご期待にかなう活動実践に向け一步一步前進して行くつもりであります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

また、国際交流の在り方も時代と共に変化して行くのも否めない事実と認識しております。白井市は内陸における県内有数の工業団地を抱えております。団地内の企業に近年、外国人研修生が多数勤務している現状です。白井の国際化を担う協会としては、市民の皆様と外国人市民の皆様が互いに理解し尊重しあえる環境作りも協会の活動が目指すべき方向の一部と捉えます。一つとして、外国人市民の皆様が日常生活を不自由なく送るための語学講座の充実、お互いの文化を知るための交流事業(白井市国際親善の日)立上げ予定です。収束の予測がつかないコロナ禍ですが、不可能を可能にする方策を考えるのも今後の課題だと思えます。

創立30周年を振り返って

代表 栗谷川 一郎

昭和の終わりごろから平成初期にかけて民間および市民の間で国際化の機運が高まり、各自治体では国際交流協会の設立が盛んになり、白井町(当時)も町主導で準備委員会(民間団体の協力を含め)が設立され、



1年余りの審議を経て、平成4年3月に白井国際交流協会設立の運びとなった。

思い出深い行事

*JICA 国際協力機構からの「建築技術」研修(20年間に78か国から435名の研修・ホームステイと都内見学)は非常に有意義であったと機構から感謝状の贈呈があり、帰国後の研修生から何通もの御礼状を頂きました。

*大使講演会

1994年の日本語によるスーダン共和国大使の講演会に始まり2019年の30人目のロシア連邦大使まで、ほぼ毎年1名ないし2名の講演会を開催しました。時には、台風による延期・自国の内乱による、開催予定の変更等もありました。また、知名度の少ない国の大使講演の場合などは、来場者の増加が望まれますので、当日駅前や近隣住宅にチラシ配布を実施集客に努めました。こちらからの要望で多少日本語が不得意の大使にも日本語による講演をお願いした結果、22名の大使は日本語による講演が実現しました。公式の場では自国語で話すが、質疑応答では日本語でも可能という大使も数人いらっしゃいました。

パラグアイ大使は子供の時に家族と移住をしたが、国籍を変えて大使となられ講演して頂きました。退任後はまた日本国籍に戻って余生を送ると言っていました。

令和4年度の事業計画

事業名称	開催日	開催場所・会場
白井ふるさとまつり	10月22日~23日	白井総合公園
語学教室交流パーティ	(予定)	白井駅前センター
大使講演会	2022年12月3日	白井文化会館・大ホール
白井駅前センターフェスティル	3月予定	白井駅前センター
世界のダンス&フードフェスティバル	2023年3月5日	保健福祉センター



白井国際交流協会
事務局

〒270-1421 白井市根116-32 川上ビル2F 202号室
Tel & Fax : 047-497-3040
E-mail: ifas@bz04.plala.or.jp

IFAS30年の活動紹介

☆ダンス&フードフェスティバルは、市民と一緒に盛り上がる大イベント

国際交流の神髄である外国人と一緒に食べて踊ってのこの大行事は3月上旬に定着しましたが、IFAS創立初期にはクリスマスパーティーからイヤーエンドパーティーと年末に実施されていた行事が、保健福祉センターを会場にした市民に開かれた行事として発展してきました。IFASの理事であるペルー人のフリオさんの協力でラテンダンスを中心に

した企画から、今では市内外の音楽グループが複数加わって、1階の会場は一日中活気に満ちています。色々な国々の食べ物の店が2階にあり、1階の音楽や踊りを見て楽しみながら外国の食べ物を食べられるのが特徴です。コロナ禍では中止せざるをえなくなっていますが、2023年3月には、開催予定です。



ダンス&フードフェスティバル

☆友好都市交流オーストラリアとの長い交流（ツアー、歓迎会）

IFAS設立のきっかけになったオーストラリアのカヤラムやブリンバンクとの交流が、やがて友好都市キャンパスビとの交流に発展します。中学生が青少年国際交流として毎年派遣や受け入れを行い、

大人は交流ツアーとなりました。ふるさとまつりに訪れるキャンパスビの職員の歓迎も含め、ホストファミリーや歓迎会を通してIFASの会員の皆さんが良く協力・参加し、友好都市交流を支えてきました。



交流ツアー

☆市民の要望に応じて地道に継続されてきた語学講座



日本語教室お楽しみ会



スペイン語講座

外国人のためにスタートから日本語教室が開かれてきました。マンツーマンに近い形で丁寧に教えるため、支援者不足や不規則な学習者の参加等で、一時中止されていた時もありましたが、労働者としての外国人が増えるようになって需要が増し、重要な講座として復活しています。日本文化を味わってもらうためにお楽しみ会も設定し、着付けや茶会、佐倉の城下町巡り

などがとても喜ばれ、良い交流の時となっています。

IFASの理事であるフリオさんがペルー人なので、教師になってもらったことや当時のスペイン語熱もあって創立当初からスペイン語講座が開かれ、現在まで継続されています。

英語は国際交流の要となる言語で需要はいつもありますが、創立当初から時事英語講座があったのはレベルが高かったと思います。

英語講座の需要は高いのに、レベルの差が広く、上級、中級、初級と分けても、さらに初歩から教えて欲しいとの要望に、ここ数年は入門や基礎とか名付けて日本人が教える講座も設けました。全クラスを含めると受講生が多かったので、昨年亡くなられた伊川幸さんの発案で、全クラス合同でのバス研修を企画したり、他の言語講座も含めた語学

交流パーティーを開いたり、年末にはクリスマスソングを英語で歌う会などが実施されました。

王凌さんの加入で少し遅れて中国語が開講されましたが、語学に加え中国文化の紹介（漢詩他）講座も始まり、現在は趙東海さんが教えています。コロナ禍でもオンラインで教えてくださっていました。



英語講座



語学部会交流パーティー

白井国際交流協会・語学教室のご案内

初回：無料見学可

※受講者の方は協会に入会していただきます。

連絡先：林（090-3497-6959）

年会費：個人会員 2,000円

講座	クラス	講師	回数 ／期間	曜日・時間	受講料	場所
英会話	基礎 クラス	日本人	全18回 ／半期	毎週土曜日 17:00~19:00	10,800円	白井駅前センター
	初級 クラス	アメリカ 人	全15回 ／半期	毎週火曜日 19:00~21:00	13,500円	白井駅前センター
	中級 クラス	アメリカ 人	全15回 ／半期	毎週木曜日 19:00~21:00	13,500円	白井駅前センター
スペイン語	—	スペイン 人	全20回	毎週金曜日 19:00~21:00	18,000円	西白井複合セン ター
中国語	入門 クラス	中国人	全20回 ／半期	毎週土曜日 13:40~15:10	17,000円	白井駅前センター (現在はオンライン)
	初級 会話	中国人	全20回 ／半期	毎週水曜日 13:30~15:00	17,000円	白井駅前センター (現在はオンライン)
	中級 会話	中国人	全20回 ／半期	毎週水曜日 10:00~11:30	17,000円	白井駅前センター (現在はオンライン)
	中・上 級会話	中国人	全20回 ／半期	毎週土曜日 15:20~16:50	17,000円	白井駅前センター (現在はオンライン)
日本語	昼間 クラス	日本人	通期	毎週金曜日 10:00~12:00	1,000円 (月)	第1・3金曜日 白井駅前センター 第2・4金曜日 西白井複合セン ター
	夜間 クラス	日本人	通期	毎週火・水曜日 19:20~20:50	1,000円 (月)	西白井複合セン ター

白井国際交流協会創立30周年記念展



当協会は2022年7月13日～17日の間、市役所東庁舎1F 多目的スペースで創立30周年記念展を開催いたしました。1992年創立から30年間の年毎のパネルで主な行事を、笠井市長のビデオメッセージを会場に流しながら紹介しました。

主な行事としては、大使講演会（30ヶ国）の紹介、友好都市キャンパスピとの交流の様子、JICA関係のコーナー、語学コーナー、国際親善ミニサッカー大会、世界のダンス&フードフェスティバル、外国人市民交流会（梨狩りとBBQ）、その他亡くなられた理事を偲ぶコーナー、その他を展示いたしました。多くの方々に来場して頂き、感謝致しております。

☆白井国際交流協会設立の様子・友好都市提携締結

1992年(平成4年) 白井国際交流協会創立

1989年白井町により白井町国際交流推進委員会（座長：吉田憲一氏）が設立され、1年以上かけ検討した、その流れで1991年12月に「国際交流協会設立準備委員会（社会福祉協議会、商工会、ロータリークラブ等より構成）」を設立、町と協議し1998年3月22日に当協会が発足した。

初代会長 竹内順一氏⇒橋本家利氏⇒栗谷川一郎氏⇒吉田憲一氏⇒栗谷川一郎氏⇒現会長 林章氏が会長を務めている。

1998年、白井町とオーストラリアのキャンパスピ市と友好都市提携締結を行いました。

参加者：ブライアン・キング校長、ベリワード助役、山口通訳、風間議長、中村町長、メリー・ボーマン市長、栗谷川会長、樋口メルボリン領事など



☆30周年記念講演

「賢い旅行計画のコツ 外国人と仲良くなる⑧方法」

事務局長：荒井靖行



近年、海外で日本の若者を見かけなくなりました。私は2005年から地元中学校にて「20歳までに海外に行こう」というタイトルで特別授業をしています。10代に自分自身で計画し、海外旅行を経験することが、人生を豊かにしてくれます。受講された方は「コロナ禍が収束したら、自分自身で計画し海外旅行に出かけてみたい」「宿泊施設や移動手段の選択方法が理解でき、自分自身で計画するハードルが下がった」などの感想を頂きました。

☆市長からのメッセージ



白井国際交流協会の設立30周年、誠におめでとうございます。

貴協会が設立された1992年（平成4年）は、当時の白井町においてオーストラリアと青少年交流派遣がスタートした白井の国際交流元年と言える記念すべき年でした。

以来、貴協会におかれましては、後に友好都市となるオーストラリア・キャンパスピ市との交流事業のほか、様々な国の駐日大使を招いての大使講演会、外国語講座や日本語教室など、30年の長きにわたり白井の国際交流の推進に寄与されておりますこと、林会長をはじめ歴代の会長、会員の皆様方のご尽力の賜物と、敬意と感謝を表す次第であります。

この30年間、日本における外国人旅行者、在住者は増加傾向にあり、国際交流事業は外国語や異文化への「国際理解」から「外国人支援」へ、そして今後は、日本と外国の人々がともに地域の中で助け合い、暮らしていく「多文化共生」社会の構築へと推移していくものと考えられます。

この取組は近年、世界規模で推進されている

SDGsの基本理念でもある「誰ひとり取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現につながるものであると確信しております。市としましても、この新たなステージである「多文化共生」社会の実現に向け、市民と外国の人々とのかけ橋と言える貴協会がもつ知見やスキルをいっそう発揮していただくことを期待しております。

新型コロナウイルス感染症の影響により人と人とのつながりや地域コミュニティ力の低下が懸念される所ですが、市としましても小学校区単位のまちづくり協議会の設立を進めるなど、市民、事業者、行政と「オール白井」でもっと豊かな白井を目指し、また、異なる国の人々がお互いに尊重しあい、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいりますので、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と、皆さまの御多幸と御健勝を祈念し、御祝いの言葉とさせていただきます。

☆橋本家利元会長より

協会創立30周年記念事業は、無事終了してよかったと存じます。

市長のビデオメッセージを初めとして、会場に30年の年輪を感じることが出来ました。展示は多彩をきわめており、協会の創立時からのイベントがわかりやすく示されていたと思います。追悼の場も設けられており、思い出深いものがありました。

30年間にはそれなりの歴史があったと思います。それぞれの時代に、役員・会員の方々の思いが凝縮して伝わってきました。このような記念事業を企画・運営された皆様に心より感謝申し上げます。

いろいろ多難な時代ですが、今後とも皆様のご発展をお祈り申し上げます。

30回を超えた大使講演会

大使講演会は1994年のスーダン共和国 ムサ・モハメッド・オマール大使の講演会からスタートし、2019年のロシア連邦 ミハイル・ガルージン大使の講演会で30回になります。30回ですが、モンゴル国S.フレルバータル大使に2度お願いしているのが29カ国 29名の大使にご講演いただいています。

各地の国際交流協会でも大使講演会は実施されていますが、当方のように定期的に実施してここまでの実績をあげているのは稀のようです。

白井国際交流協会が大使講演会を実施するに当たっては二つのこだわりがあります。

一つは原則的に日本語をお話になる大使にご講演をお願いしていることです。大使と白井市民との間のスムーズな交流に日本語による講演は極めて有用だと考えています。29名中22名の大使が日本語で講演をされています。日本語で講演をされない方については大使館から通訳官においでいただいているので問題はないのですが、それでもこだわりたいところです。

もう一つのこだわりは大使館への講演依頼をひと任せにしないで自分達ですることです。

大使館への電話入れから始めて何回ものメールのやりとりや先方に出向いての打ち合わせを全てこなします。

副会長 吉井 信行



もちろん関係先のご助言やアシストなどをいただく時もありますが、ありがたくいただいた上で自ら動きます。

これらのことは諸先輩方が永年お取り組みになって確立したもので我々後輩もしっかり継承してゆきたいと思えます。

ifas 白井市で講演していただいた大使とその国名

1 1994 ムサ・モハメッド・オマール スーダン共和国大使	16 2006 クタノフ・アスカル キルギス共和国大使
2 1995 ビクトル・アトリミ ベルギー共和国大使	17 2007 イサオ・タカハ パラグアイ共和国大使
3 1995 チェモゴ・K・ジャン ガーナ共和国大使	18 2008 セイコウ・イシカワ ベネズエラ・ボリバル 共和国大使
4 1996 ハトリック・ノートン ベルギー王国大使	19 2009 アウレリアン・ネアグ ルーマニア大使
5 1997 フェルナンド・ゴンザレス グアテマラ共和国大使	20 2010 ワリード・アフデルネセル エジプトアラブ共和国
6 1998 ヴァンサン・ブレ ガボン共和国大使	21 2011 ジョン・フリック ミクロナシア連邦大使
7 1998 ヤネス・ブレモジェ スロベニア共和国大使	22 2012 ヤドヴィガ・ロドヴィッチ チェコ共和国大使
8 1999 S.フレルバータル モンゴル国大使	23 2013 マルタ・L・セラヤンディア エルサルバドル共和国大使
9 2000 セルダヘイ・イシュトヴァーン ハンガリー共和国大使	24 2014 ゾマホン・D・C・ルフィン ベトナム共和国大使
10 2002 マサオ・サルバドル パラオ共和国大使	25 2015 アダム・カニン オーストラリア連邦 ビクトリア州政府代表
11 2002 ベータ・クラウチアンカ ベラルーシ共和国大使	26 2015 S.フレルバータル モンゴル国大使
12 2003 アフター・セット インド大使	27 2016 マンリオ・カデロ サンマリノ共和国大使
13 2004 オランダ・E・キジエン キューバ共和国大使	28 2017 ギョルセル・ イスミルザエフ アゼルバイジャン共和国大使
14 2005 許世楷 台北駐日経済文化代表処代表	29 2018 イェラン・パウダルベック コジャタエフ カザフスタン共和国大使
15 2005 アルフレド・マルティス パナマ共和国大使	30 2019 ミハイル Y. ガルージン ロシア連邦大使



2022/12/3(土)
第31回 (予定)
ジョージア
大使講演会

31回目の大使講演会は本年12月3日(土)にジョージア ティムラズ・レジャバ大使の講演会となりますが、実は幻の31回目がありました。

白井市がブルキナファソの五輪選手団のホームタウンとなったご縁から、

2020年5月にブルキナファソ パスカル・バジョボ大使の講演会が設定されていましたが、ところが東京オリンピックが延期になり講演会も2021年9月に変更になって、それも2022年2月に再延期となり、結局中止となってしまった

のです。

その後色々な方々のご協力でジョージア ティムラズ・レジャバ大使講演会を実施できることになり、現在最終調整中です。

よき伝統を継承します！

☆外国人との交流行事色々 (外国人市民懇談会、ミニ交流会、サッカー大会、料理教室)

大きなイベントではないが、外国人の要望に応える時を持つと、懇談会を開いたり、着付けや茶会を設定して楽しみながら話し合う機会を持っていますが、集まってくる外国人が減って来た数年前、目先を変えて在来地区で新たに始めたのが、会員の小林宅と近所の梨園で行った梨狩りとバーベキューでの交流行事です。白井の名産物の梨について学ぶ機会ともなりました。

また外国人も興味を持ちやすいスポーツのサッカーを活用したミニサッカー大会が中木戸公園で始まり、参加チームが増えていったので、白井運動公園に移して開催してきましたが、白熱し過ぎてのトラブルや密を避けるために、現在は中止されています。



梨狩りやバーベキュー



サッカー大会



料理教室

白井を訪れた外国人を招いての講演や交流会も多く行われ、その国の料理を教わってもらう料理教室を兼ねたミニ交流会は、すっかり定着しています。

このような外国人との交流会の積み重ねを多く実施してきましたが、なお、工業団地に務める外国人とか、ある地域に固まって居住している外国人の人々との日常の交流はまだです。コロナ禍で実現できていませんが、白井市国際親善の日として、地域と連携したさらに一歩踏み込んだ大きなイベントを企画しはじめているところです。

☆白井市や法人団体の催しに積極的に参加



ふるさとまつり

そろばん博物館フェスティバル

ふるさとまつり、まちサポひろば、白井駅前センターフェスティバル、ホワイトフェスティバル、そろばん博物館の春と夏のフェスティバルなどに協賛団体として出店や展示し、PRを兼ねての参加も多くしています。

☆終了したけれどホスト体験の中心だったJICA研修生との交流



JICA研修生との交流会

設立時前から始まっていたJICA研修生の受け入れと交流行事は、長きにわたって続いてきましたが、2008年に諸事情から終了となりましたが、多くの白井市民にホスト体験、とくにアジアアフリカの発展

途上国の若者たちのホストという事で、欧米とは違った異文化を学びながら受入れ体験をしました。大使講演会と並んで栗谷川代表の尽力で実現してきた特徴ある行事です。

☆広報誌 (会報 1~9号、WaWaWa! 1~85号) 編集の努力!

IFASの活動の報告や案内、PRを軸に、カラフルで見やすい現在の構成に発展させてきた広報係の努力に感謝です。

特に昨年亡くなられた江口さんの尽力で、バラエティーに富んだ内容が掲載されてきました。

